

令和6年度
横浜市泉区民文化センター
指定管理者業務評価報告書

令和7年3月

横浜市泉区民文化センター指定管理者選定評価委員会

横浜市泉区役所

目 次

1	指定管理者業務評価について	2
	(1) 協定の確実な執行	
	(2) 執行確認としての評価	
	(3) 評価の結果の通知と公表	
2	指定管理施設概要	4
	(1) 施設概要	
	(2) 施設運営における基本的な考え方	
	(3) 指定管理者	
3	評価	7
	(1) 評価の方法	
	(2) 評価基準	
	(3) 評価委員会による総評	

資料 1 横浜市泉区民文化センター指定管理者選定評価委員会概要

資料 2 評価の対象となる目標項目及び目標水準

資料 3 行政によるモニタリングを通じた業務執行の確認

資料 4 令和 6 年度横浜市泉区民文化センター指定管理者業務評価表

1 指定管理者業務評価について

(1) 協定の確実な執行

ア 指定管理者制度は行政と事業者が協定を締結し、事業者がその協定を確実に執行することが原則となります。協定の主要な要素は公の施設として行うべき「業務の基準」及び、公募段階において事業者が提案した「提案書」を確実に達成することです。

イ この協定に定められる業務内容、求められるサービス水準を達成することによって、公の施設の管理運営者に課せられていた規制が緩和され、民間事業者等でも公共の使命を実施するための管理運営ができるようになったことに意義があります。

ウ 指定管理者制度は、公の施設において「行われるべきこと」と「その目的達成の確認」の2点が最も重要な点です。

エ 指定期間を通じて確認するとともに、年度ごとに「行われるべきこと」と「目的達成の確認」を行うため、指定管理者に対して、年度毎の事業計画（業務計画）と年度毎の事業報告（業務報告）の作成を求めています。

(2) 執行確認としての評価

指定管理期間の年度単位で、協定の達成を確認するための4つの仕組みを設定しています。

ア 行政によるモニタリング

指定管理者は業務報告を行うとともに、行政として施設の管理運営を観察し、指定管理者と協議を重ねて、行われるべきことが適切、確実に行われているのかを把握します。

イ 指定管理者による自己評価

年度毎の事業計画（業務計画）と年度毎の事業報告に基づき、指定管理者自らが「業務の基準」の達成と「提案書」の実現を証明することが説明責任としてあります。

このために、経営目標（戦略目標）を設定し、行政との協議によって両者が共有の目標を設定します。これが評価軸となります。

ウ 行政による評価

基本的な業務にかかるモニタリングの結果を踏まえ、年度目標の達成について行政として評価を行います。

エ 外部委員による評価

自己評価および行政評価が適切に行われていることに対する評価の客観性の確保、専門的な知見や広範な情報ネットワークから得られる知見により評価をより適切なものとしていくために外部委員による外部評価を行います。

(3) 評価の結果の通知と公表

ア 外部委員による横浜市泉区民文化センター指定管理者選定評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、評価の結果を本業務評価報告書としてまとめ、泉区長に報告します。泉区長は当該内容について指定管理者に通知するとともに公表します。

イ 今回の評価の結果、低い評価項目については、指定管理者は、残余の指定期間において改善するよう努めます。しかし、回復不可能な不作為や重大な瑕疵があり、低い評価がある場合には、泉区長は指定管理者に対して、口頭または書面により改善の勧告を行うことがあります。

ウ 改善の勧告を行ってもその改善が図られない場合は、指定の取り消しも含めて処分を行います。

2 指定管理施設概要

(1) 施設概要

- ア 施設名称 横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ
- イ 所在地 横浜市泉区和泉中央南五丁目4番13号
- ウ 施設規模 延床面積 2,871 m² (専有部分)、その他共有部分あり
- エ 施設内容 演劇ホール (386 席)、楽屋 (4 室)、スクエア、ギャラリー (129 m²)、リハーサル室 (70 m²)、会議室、創作室 (54 m²)、情報コーナー、事務室他
- オ 開館 平成5年9月3日

(2) 施設運営における基本的な考え方

泉区民文化センターは、地域に根ざした個性ある文化の創造に寄与するため平成5年に設置されました。舞台芸術、特に演劇専門ホールとしての設置趣旨や次に挙げる業務の基準を踏まえつつ、施設の特徴を活かした情報の発信等を行うことにより、区民の芸術文化活動の支援に取り組むことが求められています。

[業務の基準]

使命1 文化芸術の活動と体験の場となる

文化芸術に関する活動と体験の場を提供することで、市民の活動を支援する。

使命2 文化芸術活動を担う人材を育む

地域で文化活動に興味を持ち、活動を主導する人材を増やすことで、地域住民の文化芸術活動の可能性を広げる。

使命3 文化芸術の鑑賞の機会を提供する

音楽、演劇、ダンス、美術などの文化芸術に触れる機会を提供することで、感性豊かで多様な価値観を受け入れる区民文化の醸成に貢献する。

使命4 幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける

年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、泉区の幅広い人を受け入れ、親しまれる施設となるため、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の視点も踏まえた利用者本位の運営を行う。また、地域の文化施設として求められる役割と専門性をふまえ、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に寄与する。

使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持する。また、効率的な経費の執行や収入増の取組等により、安定的な施設運営を行う

使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として施設運営を継続する

(3) 指定管理者

ア 事業者名 相鉄企業株式会社

横浜市西区北幸二丁目9番14号

イ 指定期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

[提案書における事業実施方針]

使命1 文化芸術活動の活動と体験の場となる

- ① 施設の貸出にあたっては、ルールに則り、公平・公正な運営に徹します。
- ② パンフレットや利用の手引きの配布、よくある質問や利用に際して必要な情報をホームページに掲載するなど、「使いやすさ=分かりやすさ」を軸に親しみやすい施設づくりを行います。
- ③ 全ての地域市民に情報が伝わるよう多くの媒体を使用し、“隙のない広報活動”を行います。
- ④ 文化的コモンズの形成・社会的包摂の理念に則った広報活動を進め、自発的な意欲を促進する取組へと繋がります。
- ⑤ 施設と市民の良好な関係を築くとともに、市民の自発的な活動・自己啓発の促進・コミュニティの形成・地域への貢献を促す取組を行います。

使命2 文化芸術活動を担う人材を育む

- ① 地域コーディネーターが中心となって、地域の各活動で求められている人材像を調査し、育成内容に反映させます。
- ② 繰り返し取り組める事業を、当社グループの総合力を交えながら企画します。
- ③ 企画した事業を用いて、文化芸術活動を担う人材を継続的かつ発展的に育てていきます。

使命3 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

- ① 現行で開催されているものの中から、「演劇事業」「伝統文化事業」「音楽事業」「美術事業」の4つを踏襲し、開催します。
- ② 施設外へ出張した事業や連携事業を「メッセンジャー事業」と名付け、施設の稼働の限界を超えて、区内のあらゆる場所へ文化芸術をお届けします。
- ③ 「2023年：泉区民文化センター開館30周年」「2026年：泉区政40周年」へ向

けて、連動した事業への準備や既存の地域コミュニティ・文化の振興に繋がる事業を展開します。

使命4 幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける

- ① 泉区民文化センターと泉公会堂の共同で「オープンデー」を開催します。
- ② 地域のことを学び、地域交流を促進するため、地元の文化を題材にし、区民の関心を高める事業の開催に向けて、各所へ働きかけをします。
- ③ 交流機会づくりとして大きな効果が期待できる「体験型事業」を様々なジャンルで展開していきます。講師には、主に横浜市出身や横浜市を拠点に活動するプロフェッショナルを登用します。
- ④ 施設の余剰スペースを活用し、ギャラリーを利用した「おはなし会」や、ホール・スクエアで自由にピアノが弾ける事業など、気軽に参加できる事業を随時企画します。

使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

- ① 保守管理及び維持保全については、「設備等保守管理項目一覧」に則り適切に業務を実施し、必要であれば点検箇所や回数を増やし、常に施設に対して目配りや気配りを行い、施設の予防保全に努めます。
- ② 保守管理を実行するにあたっては、施設利用を最優先と考え、利用者に影響がないよう保守点検を行います。そのため、設備等の耐用年数や稼働時間等の専門知識を基に、作業の優先順位を考慮した活動計画を作成し、必要な作業を最適なタイミングで実施します。

使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

- ① 緊急事態宣言や蔓延防止措置等の命令や指示に従い、公益社団法人全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準拠した館運営を行います。

3 評価

(1) 評価の方法

- ア 公募時に指定管理者から提出された提案書や令和3年度の指定管理者業務の基準を基礎に、評価の対象となる「目標項目」を設定しました。(資料2)
- イ 指定管理者が、目標項目ごとに「具体的な取組事業・業務」を記載し、目標達成の可否について「自己評価」を行いました。
- ウ 行政が事業計画書及び事業報告書、モニタリングを通じた業務執行の確認(資料3)、指定管理者が行った「自己評価」等を踏まえ、「行政評価」を行いました。
- エ 評価委員会委員が「自己評価」、「行政評価」、事業計画書及び事業報告書、モニタリング結果等の資料並びにヒアリングの内容を参考に「外部評価」を行い、「令和6年度横浜市泉区民文化センター指定管理者業務評価表」(資料4)(以下「評価表」という。)を作成しました。
- オ 指定管理者における事業計画(業務計画)及び事業報告(業務報告)を基礎として、評価軸(経営目標)に基づく評価を行いました。
- カ 評価委員会及び区役所は、「評価表」の内容を基礎に、本業務評価報告書を作成しました。

(2) 評価の基準

【評価の基準】

- 「A」◆ 優秀(要求水準を上回る)
- 「B」◆ 良好(要求水準の下限を保持)
- 「C」◆ 不良(要求水準の下限を満たさない)

- ・「B」を基準とします。
- ・「C」は目標に足りない部分を指摘します。

(3) 評価委員会による総評

ア 総合評価

評価軸	評価委員会
1 文化芸術の活動と体験の場となる	B
2 文化芸術活動を担う人材を育む	B
3 文化芸術の鑑賞の機会を提供する	B
4 幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける	B
5 持続可能性を高める施設運営を行う	A
6 横浜市の重要政策課題への取組	B
総合評価	B

イ 評価項目ごとの評価委員会コメント

使命1 文化芸術活動の活動と体験の場となる

- ・ SNS での情報提供、広報誌の発行、チラシによるメディアへの働きかけ、情報コーナーの運営などが積極的に行われています。
- ・ グループ企業との横連携がはかられていることも評価できます。
- ・ 地域イベントへのアーティスト紹介等は、地域の文化活動を活性化させる公立文化施設の役割の一つとして有益であると思います。
- ・ スタッフ全員のサービス介助士の資格所得や多言語対応など、多様な利用者へ配慮した取組は、高く評価できます。
- ・ 令和4年度、5年度ともにホール利用率は、地域の文化施設の利用率としては特別に低い数値ではないと思いますが、令和4年度から5年度にかけてホール、ギャラリーともに数値は上昇していますので、今後に期待します。

使命2 文化芸術活動を担う人材を育む

- ・ 「地域の文化芸術活動を担う人材を育む」のは、長く地道な働きかけによって実現できるものと思います。そのために、区民企画委員、運営ボランティア募集、アートマネジメント講座の開催など芸術文化活動を担う人材（区民）を育む試みを様々に実施しています。参加者数が目標に届かなかったのは残念ですが、応募者からの声を集めつつ取り組んでください。
- ・ 次年度に向けて、インターンシップを積極的に受け入れるための取組を進めているとのことですので、今後に期待しています。

使命3 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

- ・ 目標の数値設定と乖離してしまっている事業が複数みられますので、原因を検証して対策を講じてください。
- ・ 359席の親しみやすい大きさのホールにおいて、平日開催のワンコインコンサート等は、区民が文化芸術に気軽に親しむ入口として最適だと思います。様々なジャンルのコンサートが開催され、来場者が目標値を大きく上回っており、今後の展開にも期待したいです。
- ・ 区役所ロビーでのメッセンジャー事業は、地元出身の演奏家が曲間にトークを交え親しみやすい雰囲気では会場を盛り上げており、よい取組だと思いました。

使命4 幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける

- ・ 泉公会堂と互いの特徴を理解しあい、オープンデーを合同で開催したことは、文化施設を地域に開かれたものにする上で高く評価できます。
- ・ 地産地消事業は、令和4年度オープンデーにおける「マルシェ」、令和5年度地産地消講演会と親しみのある体裁をとることで、幅広い区民の関心を集めつつ、ソーシャルインクルージョン、文化的コモンズの形成に寄与することが大きいと思います。
- ・ バリアフリーの視点からの来館者の声については、アンケートのみではなく、インタビュー調査も行われると良いかもしれません。
- ・ 事業数は目標を達成していますが、今後に向け、地域と連携した取組を更に進めることを期待しています。

使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

- ・ 市内中小企業が優先され、件数も多く発注されています。
- ・ 毎年1回、100名を超える有観客での避難訓練コンサートを開催することは、防災対策上有効なことと高く評価します。
- ・ 事故ゼロ、法定点検の実施、修繕予算の執行率も想定程度、利用者とのコミュニケーションへの配慮、オフィスコストの適正性の確保などが行われていると考えます。
- ・ 築30年にも関わらず、よく管理されています。区民の大切な財産として将来に引き継げるよう、今後とも適切な施設管理に努めてください。

横浜市の重要政策課題への取組

- ・ 「住むなら泉区」の推進に向けた取組を、より一層進めることを期待します。
- ・ 引き続き、適正・適切な取組をお願いします。

※ 評価委員会では、「使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する」に関しては、使命5と統合して評価した。

横浜市泉区民文化センター指定管理者選定評価委員会概要

(1) 横浜市泉区民文化センター指定管理者選定評価委員会 委員名簿

氏名	所属
○ 石田 麻子	昭和音楽大学教授
伊藤 好男	泉伝統文化保存会会長
木村 聡	公益財団法人神奈川芸術文化財団事務局次長
馬場 勝己	泉区連合自治会町内会長会会長 特定非営利活動法人よつ葉の会理事長
山下 薫	東京地方税理士会戸塚支部税理士

※五十音順。○印は委員長

(2) 評価委員会開催経緯

第1回委員会	令和6年11月21日(木) 15:30~17:00 会場：横浜市泉区総合庁舎4階4AB会議室 議題：評価の対象となる目標項目・目標水準の確認 今後のスケジュールについて
施設見学 ※希望者のみ	令和6年11月21日(木) 17:00~18:00 会場：横浜市泉区民文化センター
第2回委員会	令和7年2月18日(火) 9:30~11:30 会場：横浜市泉区総合庁舎4階4AB会議室 議題：自己評価について 業務評価報告書(案)について

資料2 目標項目

使命1 文化芸術の活動と体験の場となる

指定管理者が提案する指標

目標	実績
施設貸出業務への取組	
・スタッフのサービス介助士資格取得	合計4人取得(R4:3人、R5:1人)
・耳マーク、ハートプラスマークの取得	掲示及び対応済(R5～)
・館内表示の多言語化	R5:四か国語掲示
・翻訳アプリ等の活用	活用研修及び訓練実施
・WEBでの機材等各種資料提供	提供済
・施設の空き区分のリアルタイム発信	対応済(R6～)
広報活動・情報提供への取組	
・WEB、SNSでの情報提供	WEB、SNS(X・Instagram・LINE)にて情報提供済
・広報誌の発行	「FONTEMESSENGER」の発行(毎月)
・区外パートナーとの連携	金沢公会堂へ毎月チラシ送付
・県内主要メディア・地元メディアへの働きかけ	毎月チラシ送付
・区内施設や団体との連携	公募写真展 泉区出身映画監督作品上映
・充実した情報コーナーの設置	設置済
・自社グループ企業との連携	「いずみ野線と泉区講座」 にて自社グループとの連携実施
地域:活動支援に対する取組	
・預かりチケット販売	R4:2件、R5:2件
・利用者会議開催	R5泉公会堂と合同にて実施
・地域の文化芸術イベントのサポート	アーティスト紹介及び参加等実施
・コミュニケーションボードの設置	設置済(R5～)
・サークル活動の紹介	対応済(R5～)
・Wi-Fiの設置	設置済

業務の基準で設定している指標

定量指標① 貸館利用率(ホール、ギャラリー)		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	【令和4年度】 ホール:65.7%(コマ)、73.8%(日) ギャラリー:29.8% 【令和5年度】 ホール:67.3%(コマ)、77.3%(日) ギャラリー:44.3%
ホール:75% ギャラリー:53%	ホール:78% ギャラリー:59%	
定量指標② 総来場者数		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	【令和4年度】 43,686人 【令和5年度】 46,946人
70,000人以上	75,000人以上	
定性指標① 利用者の状況についての現状把握		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	【令和4年度】 2月に利用者アンケートを実施済。 利用者会議については応募者ナシ。 【令和5年度】 2月に利用者アンケートを実施。 泉公会堂と合同で利用者会議を実施。
アンケート月間や利用者会議を設け、属性の把握に努める。	属性ごとに要望の傾向を調査し、施設運営に反映させる。引き続き情報収集を行う。	

使命2 文化芸術活動を担う人材を育む

指定管理者が提案する指標

目標	実績
区民企画委員:年1回・10人	R4:年1回・6人、R5:年1回・5人
運営ボランティア:随時・年10人	R4:5人、R5:8人
アートマネジメント企画講座:年1回・20人	R4:1回・10人、R5:1回・8人
弁理士による出張授業:年1回・20人	R4:1回・21人、R5:1回・5人
アーティストバンク:年1回・合格者3名	R4:管楽器部門にて実施。合格者3名 R5:ピアノ部門にて実施。合格者4名
職業体験・インターンシップ:年1回・3校	R4:1回、R5:0回
神奈川産学チャレンジプログラム 一期で2回・2チーム	該当ナシ

業務の基準で設定している指標

定量指標① 次世代育成・若手アーティスト育成等に 寄与する事業数		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	8事業
7事業以上	10事業目標	
定量指標② 施設の事業に協力する、 地域住民(ボランティア等)の人数		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	R4:11人(区民企画委員5人、運営ボランティア6人) R5:13人(区民企画委員5人、運営ボランティア8人)
20人以上	50人以上	
定性指標①子どもたちや学校の定性分析		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	R4:5校、R5:4校
学校プログラムや アウトリーチ活動等での ヒアリング実施	連携した事業の開催	
定性指標②新たに参加した人の属性分析		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	自主事業の来場者アンケート及び利用者 アンケートにて来館数を聴取
アンケート調査、 ヒアリング実施	継続して行う	

使命3 文化芸術の鑑賞の機会を提供する

指定管理者が提案する指標

実施頻度・目標	実績
演劇公演 年1回以上、来場者200人以上	R4: 年1回来場者40人 音楽劇 モチモチの木～箏の二重奏にのせて～ R5: 年1回来場者71人 人形劇 ルドルフとイッパイアッテナ
演劇ワークショップ 年2回、参加者20人以上	ミュージカルワークショップ R4: 4回 14人、R5: 4回 21名
伝統芸能事業 年1回以上、来場者200人以上	いずみ寄席 R4: 182人、R5: 183名
定期的な音楽鑑賞機会 年6回以上、来場者延べ600人以上	ワンコインコンサート R4: 年6回 1,003人、R5: 年6回 1,236名
幅広いジャンルの音楽鑑賞機会 年1回以上 有料公演時チケット販売率80%以上	R4: 年1回チケット販売率47.6% 南国クリスマスコンサート R5: 年2回チケット販売率42.2%・89.9% 碓井俊樹ピアノリサイタル・JAZZLIVE
音楽関連ワークショップ 参加者20人以上	R4: オカリナワークショップ 12人 R5: ウクレレワークショップ 20人
美術事業 年1回、来場者250人以上	R4: 1,094人、R5: 1,190人
メッセンジャー事業 鑑賞者延べ300人以上	R4: 299人 R5: 375人以上(そのうち1回は鑑賞者数カウントできず)

業務の基準で設定している指標

定量指標① 鑑賞型事業のメニューのジャンルの数及び実施回数		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	R4: ジャンル数5(実施回数13回) R5: ジャンル数7(実施回数14回)
ジャンル数5 実施回数10回以上	ジャンル数5 実施回数12回以上	
定量指標② 体験型事業の事業数及び実施回数		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	R4: 事業数5(実施回数11回) R5: 事業数5(実施回数20回)
事業数5 実施回数10回以上	事業数5 実施回数15回以上	
定量指標③ 学校でのアウトリーチ数		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	R4: 5校、R5: 4校
4校以上	5校以上	
定量指標④ 来場者(参加者)満足度(アンケート集計)		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	全事業において、3以上評価(満足、やや満足、普通)70%以上を満たしている。
3以上評価 70%	3以上評価 90%	
定性指標① 参加者の定性分析		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	全ての事業において来場者アンケートを実施(無料公演事業含む)
全ての有料公演事業にて行う	全ての有料公演事業にて行う	

使命4 幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける

指定管理者が提案する指標

目標	実績
<p>オープンデー (IZUMI TWINS OPEN DAY) 年1回来場者800人以上</p>	<p>R4: 年1回 来場者513人 ※各館で配布したリストバンドの枚数が513枚であったため、両館を回遊した延べ人数とすると800人近い来場者数となったと考えている。 R5: 年1回 来場者700人</p>
<p>まるたまクラフトワークショップ 年2回以上 参加者20人以上</p>	<p>R4: 年4回 参加者47人 (オープンデーの人数はカウントせず) R5: 年5回 参加者114人</p>
<p>地産地消事業 年1回参加者20人以上</p>	<p>R4: 年1回 オープンデーにおいて 泉区産の野菜を販売するマルシェを実施。 R5: 年1回 地産地消講演会を実施。 ※参加者数: 40名</p>
<p>写真講座 年1回参加者20人以上</p>	<p>R4: 年1回 参加者数4人 すずちゃん先生の初心者のための写真講座 R5: 年1回 参加者数13人 テーブルフォト講座</p>
<p>おはなしサンタのおはなし会 年2回以上参加者50人以上</p>	<p>R4: 年2回 参加者数52人 R5: 年2回 参加者数57人</p>
<p>テアトルフォンテでピアノを弾きませんか 月1回以上 利用可能日数: 1日11コマ</p>	<p>R4: 10月以外は実施 1日9コマ(利用時間1時間) ※10月は共催事業が多かったため。 R5: 4月以外は実施。 1日5コマ(R5より1コマ2時間に変更) ※4月はピアノ更新作業を行ったため。</p>
<p>地域のことを学び地域交流を促進する機会 いずみ野線と泉区講座 養蚕関連事業</p>	<p>いずみ野線と泉区講座 R4: 参加者数140人 R5: 参加者数100人 養蚕関連事業 R4: シルクスカーフの染色体験、巻き方教室、シルクスカーフドレスの展示を実施。</p>

業務の基準で設定している指標

定量指標① 社会包摂の実現を目指す事業数		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	
8事業以上	10事業以上	R4:8事業 R5:9事業
定量指標② 地域の施設・団体と連携して実施した事業数		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	
7事業以上	10事業以上	R4:6事業 R5:9事業
定性指標① 地域コーディネーター担当による地域との 連携状況のレポート		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	
レポートを公開	レポートをもとに 地域活動者との シンポジウムを開催	R4:未実施 R5:いずみ野線と泉区講座のレポートを記載
定性指標② バリアフリーの視点からの来館者の声 (アンケート・インタビュー調査)		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	
事業モニターや第三者による分析等で現状を定期的に把握する	継続して行う	利用者アンケートにて包括的にヒアリングを実施。

使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

指定管理者が提案する指標

目標	実績
市内中小企業優先発注:5社 市内中小企業の優先発注の他、市内に縁のある企業に積極的に依頼し、活性化につなげる。	R4:13社 R5:12社
ハマロードサポーターの参加:月1回30分程度	R4:月1回、R5:月1回
避難訓練コンサート:年1回 100名動員	R4:年1回130人 R5:年1回150人
館内巡回:1日3回 朝・昼・晩の3回	開館時・閉館時の館内点検および諸室利用後の点検時に館内巡回を実施。不審者と思われる方やお困りごとがありそうな方には積極的にお声掛けをした。
防犯カメラ:随時 監視における早期発見	継続して実施
感染症対策:随時 監視における早期発見	横浜市および各業界のガイドラインに従い対策を行った。検温機能付き消毒装置、アルコール除菌セット、アクリルボード等の設置や貸出しの実施。備品の消毒、換気、連絡先受領等。
普通救命救急:随時 全ての職員が資格を取得	新規配属者は普通救命講習を受講する。また、泉消防署が実施する救急教室も受講しAEDの取扱い機会を増やし対応力の向上を図っていく。

業務の基準で設定している指標

定量指標① 施設の管理瑕疵に起因する事故件数		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	0件
0件	0件	
定量指標② 法定点検等の実施		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	100%
100%	100%	
定量指標③ 修繕予算の執行率		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	R4:86.6%、R5:100.4%
90%	90%	
定性指標①施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	目標どおり収集を行った
日々のコミュニケーション、アンケート月間、ご意見箱、利用者会議、ホームページのお問い合わせフォーム、自主事業時のアンケート等により収集する。	継続して行う	
定性指標② 管理運営費推移の要因分析		実績
2年目目標	5年目目標《参考》	【取組内容】 四半期ごとに分析した。
利用料金収入や貸室稼働率に対して、水光熱費やオフィスコストが適正に推移をしているか、前年度同期比に対して乖離がないか、四半期毎に分析を行い、サービスを維持したうえで時期に反映する。	継続して行う	

横浜市の重要政策課題への取組

指定管理者が提案する指標

取組内容	実績
<p>人権尊重 障がい者などが利用しやすい環境づくりを行い、文化芸術活動へのアクセスが困難な方々に対する鑑賞や体験などの事業を活発に展開していきます。</p>	適正に実施している。
<p>個人情報保護に対する取組 個人情報を含む書類は、施錠できる書庫に保管します。併せて、研修を実施し、個人情報保護の重要性を共有します。</p>	適正に実施している。
<p>情報公開に関する取組 情報公開の趣旨に鑑み規定等を策定し、適切に運用します。</p>	今期は該当ナシ
<p>環境への配慮に関する取組 省エネなど環境に配慮した施設運営に努めます。</p>	適正に実施している。

行政によるモニタリングを通じた業務執行の確認

【状況】

- ・ 日常的な業務、施設の管理状況、自主事業の実施状況等は、区職員が適宜施設を訪問し、状況確認に努めた。
- ・ 区役所に提出される報告書、自主事業案内により運営状況のモニタリングを実施した。
- ・ 平成5年9月3日の開館後、平成28年4月1日から当該指定管理者による運営が行われてから現在にいたるまで、大きなトラブルもなく運営が行われた。

【利用率】

上段(日) 下段(コマ)	ホール	ギャラリー	会議室 A	会議室 B	リハーサル 室	創作室	合計
4年度	73.8%	29.8%	77.2%	63.0%	83.5%	76.4%	67.2%
	65.7%		48.7%	39.6%		42.7%	
5年度	77.3%	44.3%	77.0%	70.1%	90.8%	79.6%	73.1%
	67.3%		46.9%	43.0%		54.2%	

【人員体制】

- ・ 年間を通して計画通りの人員が配置され、必要人員は確保されていた。

【維持管理業務】

- ・ 年間を通して保守点検は適切に行われ、修繕箇所の予防修繕、早期発見及び区への報告が行われ、良好に管理されている。

【収支結果】

- ・ 自主事業の収入増、事務費の削減、光熱水費をおさえることにより、令和4年度・令和5年度ともに収支プラス3,000千円以上となった。

【評価】

- ・ さまざまなジャンルで、地域の方がより参加しやすい魅力的でバランスの取れた自主事業を構成し、区民から高い評価を得られています。
- ・ 広報宣伝、地域連携、受付対応などの豊富なスキルや経験を持つ担当スタッフを配置し、安定した施設の運営を行っています。また、館長自ら小破修繕を行っていることにより、修繕費を抑えることに成功しています。
- ・ 地域のイベントへの参加や、区内小学校での文化活動支援などを通して、地域コミュニティを形成し、区民からの信頼を獲得しています。

資料4 令和6年度横浜市泉区民文化センター指定管理者評価表

使命1 文化芸術の活動と体験の場となる

指定管理者が提案する指標

目標		実績	自己評価	行政評価	委員会評価
施設貸出業務への取組			B	B	B
・スタッフのサービス介助士資格取得	合計4人取得(R4:3人、R5:1人)		サービス介助士については配属の都度取得した。館内表示については、どの言語を採用するか議論を交わしたが、4ヶ国語(英語・中国語・韓国語・日本語)表示とした。翻訳アプリ等の活用については資料およびアプリでの訓練を行った。機材等の各種資料は指定管理業務当初よりホームページ掲載により提供した。空き施設のリアルタイム発信についてはX(旧ツイッター)にて毎週日曜日夜に翌月曜日以降土曜日までの分の空き状況の掲出を行っている。	資格取得や研修を行い、全ての項目において目標を達成しています。施設は、構築年数が経ち、老朽化が進んでいます。日頃から清掃や備品の整頓がなされており、利用者が必要とする情報が大変分かりやすく見やすいものとなっているところが特に評価できる点です。	スタッフ全員のサービス介助士の資格取得や多言語対応など、多様な利用者への配慮した取組は、高く評価できます。Webでの各種資料(舞台図、備品表、座席表等)の提供、X(旧ツイッター)による定期的な空き状況の掲出は、利用者にとって利便性の高い取組となっています。
・耳マーク、ハートプラスマークの取得	掲示及び対応済(R5～)				
・館内表示の多言語化	R5:四か国語掲示				
・翻訳アプリ等の活用	活用研修及び訓練実施				
・WEBでの機材等各種資料提供	提供済				
・施設の空き区分のリアルタイム発信	対応済(R6～)				
広報活動・情報提供への取組			A	A	A
・WEB、SNSでの情報提供	WEB、SNS(X・Instagram・LINE)にて情報提供済		WEB、SNSでの情報提供については、LINEの登録者数を増加させる施策としてワンコインコンサートにおいて「お友だち限定先着10名まで無料キャンペーン」実施し、一定数の効果があった。区外パートナーとの連携については、当社が指定管理者となっている金沢公会堂において当館の自主事業を開催した。また、当社が指定管理者となっている市内の区民文化センターにチラシの送付を行い広報協力を担っている。区内施設との連携については、メッセージライブをいずみ公園こどもログハウスで開催しリニューアルオープンのこけら落としコンサートでお祝した。また、オープンデーでは、泉区自立支援協議会に加入している福祉作業所にご出店頂き、施設で作成したパンやお菓子を販売、泉区の魅力活カとしてPRした。公募写真展や中学校美術展・高等学校美術展では、区内の写真サークルの他、区内に所在する学校と連携して展示を行った。自社グループ企業との連携については、「いずみ野線と泉区講座」においてグループ会社役員が登壇し、いずみ野線と泉区の関わりおよび発展に寄与した旨の講演を行った。また広報活動についても連携しており、グループ会社の公式X(フォロワー約4万人)および沿線の情報を提供するアプリならびに泉区内自社グループ企業ショッピングセンターのデジタルサイネージおよびホームページで自主事業の告知を行った。	施設の情報のみならず、泉区内でのイベント等の情報を織り交ぜたPRがなされています。これにより、公演の情報提供が行われるだけでなく、地域に根差した泉区特有の音楽施設としての色味を濃く発出することに成功しています。また、自社企業、他施設及び団体との連携も積極的に行われています。情報コーナーにおいては、充実したラインナップでありながら、整然とチラシ等が並んでおり、必要としている情報が探し出しやすくなっています。	SNSでの情報提供、広報誌の発行、チラシによるメディアへの働きかけ、情報コーナーの運営などが積極的に行われています。グループ企業との横連携がはかられていることも評価できます。泉区ゆかりの人などをフューチャーする活動も意識的におこなわれていることがわかります。オープンデーでの福祉作業所の出店や区内別会場でのメッセージライブの開催、「いずみ野線と泉区講座」の開催などは、区民に親しまれる施設運営として優れた取組です。
・広報誌の発行	「FONTEMESSENGER」の発行(毎月)				
・区外パートナーとの連携	金沢公会堂へ毎月チラシ送付				
・県内主要メディア・地元メディアへの働きかけ	毎月チラシ送付				
・区内施設や団体との連携	公募写真展 泉区出身映画監督作品上映				
・充実した情報コーナーの設置	設置済				
・自社グループ企業との連携	「いずみ野線と泉区講座」 にて自社グループとの連携実施				
地域:活動支援に対する取組			B	B	B
・預かりチケット販売	R4:2件、R5:2件		利用者会議については、当館と同一の指定管理者で運営を行っている泉公会堂と合同で行った。同館も当館と同じ利用団体が使用しており、またホールや講堂を有する同様な文化施設でもあるため、情報を共有することは大変意義のあることとなった。	預かりチケット販売は、待機列の整列、窓口及び電話対応等、同時に行う難しさがある中、館長自ら指揮をとり、臨機応変な対応が行われていました。利用者の意見を取り入れつつ、利用者が必要とするもの(Wi-Fi、コミュニケーションボード、サークル活動)を提供することでより良い施設となっています。また、地域イベントに出向きアーティスト紹介及び公演を行うことにより、施設の認知度向上及び地域活性化に貢献していました。	利用者会議の開催によるニーズ把握は公会堂と合同で行われ、有意義な成果があげられているようです。預かりチケットの販売などは、利用者にとっても鑑賞者にとっても有益な取組になっています。Wi-Fi整備など利用者の利便性を向上させる取組も行われています。地域イベントへのアーティスト紹介等は、地域の文化活動を活性化させる公立文化施設の役割の一つとして、有益であると思います。利用者にとって良い施設となるよう、地域のサークル文化、イベント等々のサポートを期待します。
・利用者会議開催	R5泉公会堂と合同にて実施				
・地域の文化芸術イベントのサポート	アーティスト紹介及び参加等実施				
・コミュニケーションボードの設置	設置済(R5～)				
・サークル活動の紹介	対応済(R5～)				
・Wi-Fiの設置	設置済				

業務の基準で設定している指標

定量指標① 貸館利用率(ホール、ギャラリー)		実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》	【令和4年度】 ホール:65.7%(コマ)、73.8%(日)、 ギャラリー:29.8% 【令和5年度】 ホール:67.3%(コマ)、77.3%(日)、 ギャラリー:44.3%	C コロナ禍の影響により稼働率が低下し 目標は達成していない状況ではある が、着実に上昇している。ホールについ ては、ホールの時間貸しである「ピアノ を弾こう」を初年度の倍の月4日間開催 とし、ホールを体感していただき利用促 進へ繋げている。また、ギャラリーに関 してもオープンデーにおいて気軽に参 加できるハンドメイドマルシェを開催し、 ギャラリー利用に繋がった実績がある。 数値としては低い来場者数となっている が稼働率は比べてそこまで低くは無い。 無料や安価で気軽に来場できる事 業(ピアノを弾こう、ワンコインコンサ ート、アフタヌーンコンサート、公募写 真展、美術展など)を数多く開催し、来 場者数増施策を展開し早期目標達成を 目指す。	C 数値としては、目標に届かず厳しい結果とな りました。 コロナ禍が収束に向かっているとはいえ、目 標策定時には想定出来なかった人の戻らな さが原因にあるかと思えます。 アンケートや利用者会議等の意見を踏まえ、 残りの指定管理期間において少しでも目標に 近づけるよう努めてください。	C 令和4年度のギャラリー稼働率は、目標の半分 ほど大きく乖離した結果となってしまっています。 主催者、来場者のいずれも市民利用が中心とな っていることから、コロナ禍により活動が一旦沈滞し てしまい、その状況から戻っていないことが理由か と考えられます。身近な館の存在がもっと区民や 区外近隣の方々に認知されるような努力を引き続 きおこなっていただきたいと思えます。 4年度、5年度ともにホール利用率は、地域の文 化施設の利用率としては特別に低い数値ではな いと思えますが、それでも4年度から5年度にかけ てホール、ギャラリーともに数値は上昇しています ので、今後に期待いたします。また総来場者数に ついては、目標値に達しませんでした。提案書に は、「当社グループのネットワークを活用した連携 事業等の効果を狙った目標値」とありました。今後 におおいに期待したいところです。
ホール:75% ギャラリー:53%	ホール:78% ギャラリー:59%				
定量指標② 総来場者数		実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》	【令和4年度】 43,686人 【令和5年度】 46,946人			
70,000人以上	75,000人以上				
定性指標① 利用者の状況についての現状把握		実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》	【令和4年度】 2月に利用者アンケートを実施済。 利用者会議については応募者ナシ。 【令和5年度】 2月に利用者アンケートを実施。 泉公会堂と合同で利用者会議を実施。	B 利用者アンケートについては、アンケート の結果を泉公会堂と共有している。利 用者会議については、初年度応募が無く 開催できなかったため2年目以降は 当館と同一の指定管理者で運営してい る泉公会堂と合同で両館を使用する団 体や地域の代表者をお招きし開催して いる。要望や情報を共有することで利 用者へのサービス向上の相乗効果を 図った。	B 計画どおり、実施されていました。 利用者アンケートはスタッフ全員に内容の確 認及び情報共有が行われており、利用者会 議は、単独施設では応募がなかったもの の泉公会堂と合同で行うなど工夫し、利用者の 意見をまとめていました。	B 利用者会議は令和4年度に参加希望者がなく 実施できなかったところ、令和5年度には泉公 会堂と合同開催することで実施したとあり、工 夫の成果が表れています。 なぜ利用が少ないのか、どのような要望があ るのか等をくみあげる必要があると思えます ので、引き続き様々な方法で直接意見が聞け るような方策を考えてください。 利用者アンケートは大変重要だと思われま すので、出された意見を大切にしてください。
アンケート月間や 利用者会議を設け、 属性の把握に努め る。	属性ごとに 要望の傾向を調査し、 施設運営に反映させる。 引き続き情報収集は行 う。				

使命2 文化芸術活動を担う人材を育む

指定管理者が提案する指標

目標	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
区民企画委員:年1回・10人	R4:年1回・6人、R5:年1回・5人	C	C	C
運営ボランティア:随時・年10人	R4:5人、R5:8人	区民企画委員(フォンテ・クリエイターズ)については、参加者が目標を達成していないものの、地域に対する訴求効果は高く、文化事業の企画立案実施経験により確実に文化の担い手は増えている。初年度のフォンテ・クリエイターズが実施したワンコインコンサートについては初の満席となり、手応えを感じている。運営ボランティア(フォンテ・サポーター)については、R6の登録者数は19名となり目標を大幅に達成している。弁理士による発明工作授業については、R6の参加者数は21名で目標を達成している。アーティストバンクについては、目標どおり実施しており、合格者には地域の自主事業や地域のイベント、学校へのアウトリーチ活動に出演して頂き、地域の文化振興に貢献している。	参加人数を増やす対策が望まれます。参加されている方の満足度は高いようですので、貴社スタッフのみならず参加して下さっている人々を巻き込んで情報発信等に努めていただき、目標達成を目指してください。	「地域の文化芸術活動を担う人材を育む」のは、長く地道な働きかけによって実現できるものです。そのために、区民企画委員、運営ボランティア募集、アートマネジメント講座の開催など芸術文化活動を担う人材(区民)を育む試みを多様に実施しています。参加者数が目標に届かないのは残念ですが、応募者からの声を集めつつ、取り組んでください。今後に期待しています。
アートマネジメント企画講座:年1回・20人	R4:1回・10人、R5:1回・8人			
弁理士による出張授業:年1回・20人	R4:1回・21人、R5:1回・5人			
アーティストバンク:年1回・合格者3名	R4:管楽器部門にて実施。合格者3名 R5:ピアノ部門にて実施。合格者4名			
職業体験・インターンシップ:年1回・3校	R4:1回、R5:0回			
神奈川産学チャレンジプログラム 一期で2回・2チーム	該当ナシ	C	C	C
		目標達成に向け、本社部門および自社グループ企業との連携を図る。	募集方法やコンセプトに課題があるように見受けられました。貴社のインターンシップ募集に加えて、本市の職業体験募集もうまく活用していただき、今期の目標達成に向けて取り組むことができたらと考えます。	文化芸術活動を担う人材を育むには、公立文化施設の単体の働きかけだけでは困難も多いと思います。職業体験・インターンシップの受け入れ等については、例えば地域の小中高校の協力を得ることも有効かもしれません。

業務の基準で設定している指標

定量指標① 次世代育成・若手アーティスト育成等に 寄与する事業数	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》	B	B	B
7事業以上	10事業目標	5年目の目標も達成できるよう事業数を継続して増やして行く。	適正に実施されています。	目標となる事業数に届くように取り組んでいただければと思います。
定量指標② 施設の事業に協力する、 地域住民(ボランティア等)の人数	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》	B	C	B
20人以上	50人以上	R4:11人 (区民企画委員5人、運営ボランティア6人) R5:13人 (区民企画委員5人、運営ボランティア8人) R6に23人(区民企画委員4人、運営ボランティア19人)となり目標を達成した。	目標に対し、実績の伸びに少し鈍さがあります。事業内容や募集方法について検討を行う必要がありそうです。	2年目目標値には届きませんでしたが、令和6年度には達成しているため、5年目目標に向け期待したいと思います。ボランティアのニーズを集めながら、取り組んでください。目標はあまり背伸びしすぎない設定が必要かと思えます。
定性指標①子どもたちや学校の定性分析	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》	B	B	B
学校プログラムやアウトリーチ活動等での ヒアリング実施	連携した事業の開催	毎年横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局と連携し学校へのアウトリーチ活動を行っている。その際、ヒアリングにより学校側が求めている要望を把握している。	目標に沿って、学校プログラムやアウトリーチ活動等でのヒアリングを実施し、着実に実績を伸ばしています。	学校へのアウトリーチ事業は、公立文化施設の重要な役割の一つです。ヒアリングにより学校の要望を把握しているため、それを反映しつつ実施してください。
定性指標②新たに参加した人の属性分析	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》	B	B	B
アンケート調査、 ヒアリング実施	継続して行う	自主事業の来場者アンケート及び利用者アンケートにて来館数を聴取 全事業に関し来場者アンケートを実施している。質問項目に来館回数および事業を知った手段を細かく設定し来場者の実態把握を行っている。	アンケートやヒアリングを適宜行い、運営に活かすことができます。	アンケートによる実態把握には継続が大切です。また、「新たに参加した人の属性分析」については、ヒアリングも効果的だと思われます。

使命3 文化芸術の鑑賞の機会を提供する

指定管理者が提案する指標

実施頻度・目標	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
演劇公演 年1回以上、来場者200人以上	R4: 年1回来場者40人 音楽劇 モチモチの木～箏の二重奏にのせて～ R5: 年1回来場者71人 人形劇 ルドルフとイッパイアッテナ	C	B	B
演劇ワークショップ 年2回、参加者20人以上	ミュージカルワークショップ R4: 4回 14人、R5: 4回 21名	<p>演劇公演については、R6において119人分販売109名来場となり、目標未達成ながらも着実に人数を増やしており、早期に目標が達成できるよう、更に内容や広報手段を検討して尽力する。</p> <p>伝統芸能事業については、共催事業太鼓お囃子フェスティバル(主催/泉郷土芸能保存会、泉伝統文化保存会)を加えると目標を達成している。いずみ寄席においてR6に人気の高い壺家春風亭一之輔師匠をお招きしたところ300席以上が即日完売となり、目標を達成している。</p> <p>音楽関連ワークショップについては、楽器演奏技術の習得のみならず、地域住民との交流を図ることができ、地域と施設をつなぐ大切な事業となった。また、ワークショップ終了後も参加者の中でサークルを作り、地域の文化の担い手の育成に寄与することができた。</p> <p>美術事業については、R4からの公募写真展に加え、R5からは区内所在の学校の生徒の作品を一堂に展示した「中学校美術展」「高等学校美術展」を開催し、地域の方にお越し頂きやすい枠組みを行っている。</p> <p>メッセンジャー事業については、メッセンジャーライブとして区民ホールでの開催に加え、R5には横浜市と自社グループ企業との合同のイベント「やよい祭」のステージイベントに参加し鑑賞者を増やした。今後も商業施設等人出の多い場所に出向き実施して行く。</p>	<p>演劇公演及び伝統芸能事業については、目標達成に届かない結果になりましたがどの事業も令和4年度から5年度にかけて参加者(来場者)を伸ばすことができています。</p> <p>区役所にて開催されるメッセンジャーライブはファンも多く、区民の方から定期的に開催日についてのお問合せがあるほどです。</p>	<p>目標の数値設定と乖離してしまっている事業が複数みられますので、原因を検証して対策を講じてください。</p> <p>夏休み4日間にわたり開催された中学、高校、大学生(専門学生を含む)を対象とした演劇ワークショップは、ホールの特性を最大限に生かす取組で、演技や表現を学ぶだけでなく、他者との関わりを学ぶことのできる。若い世代の参加者に貴重な機会を提供できる事業で、参加者数が目標を上回っていることも含めて高く評価できます。</p> <p>359席の親しみやすい大きさのホールにおいて、平日開催のワンコインコンサート等は、区民が文化芸術に気軽に親しむ入口として最適だと思います。</p> <p>様々なジャンルのコンサートが開催され、来場者が目標値を大きく上回っており、今後の展開にも期待したいです。</p> <p>美術事業は、中学校美術展・高等学校美術展は文化芸術の鑑賞機会の提供として多くの区民が鑑賞した成果のみならず、中高生の文化芸術活動の活動と体験の場となるよい機会を提供したと思います。</p> <p>区役所ロビーでのメッセンジャー事業は、地元出身の演奏家が曲間にトークを交え親しみやすい雰囲気でも会場を盛り上げており、よい取組だと思いました。</p>
伝統芸能事業 年1回以上、来場者200人以上	いずみ寄席 R4: 182人、R5: 183名			
定期的な音楽鑑賞機会 年6回以上、来場者延べ600人以上	ワンコインコンサート R4: 年6回 1,003人、R5: 年6回 1,236名			
幅広いジャンルの音楽鑑賞機会 年1回以上 有料公演時チケット販売率80%以上	R4: 年1回チケット販売率47.6% 南国クリスマスコンサート R5: 年2回チケット販売率42.2%・89.9% 碓井俊樹ピアノリサイタル・JAZZLIVE			
音楽関連ワークショップ 参加者20人以上	R4: オカリナワークショップ 12人 R5: ウクレレワークショップ 20人			
美術事業 年1回、来場者250人以上	R4: 1,094人、R5: 1,190人			
メッセンジャー事業 鑑賞者延べ300人以上	R4: 299人 R5: 375人以上 (そのうち1回は鑑賞者数カウントできず)			

業務の基準で設定している指標

定量指標① 鑑賞型事業のメニューのジャンル数及び実施回数	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標 ジャンル数5 実施回数10回以上	5年目目標《参考》 ジャンル数5 実施回数12回以上	B	B	B
2年目目標 事業数5 実施回数10回以上	5年目目標《参考》 事業数5 実施回数15回以上	<p>目標を達成している。</p>	<p>多種多様なジャンルの事業を目標より大幅に実施回数を増やし展開することができています。</p> <p>随所に地域の方々が参加しやすいようなものを取り入れているところが評価できる点です。</p>	<p>ジャンルや実施回数は目標値を上回る結果となりました。</p> <p>鑑賞型事業の5つのジャンル「演劇事業」「伝統芸能事業」「音楽事業」「美術事業」「メッセンジャー事業」を偏りなく適度な回数を実施しています。体験型事業は、美術・工芸の分野で指標に示された回数を上回って実施され、多くの事業で定員いっぱい参加者を集めています。</p>
2年目目標 4校以上	5年目目標《参考》 5校以上			
定量指標② 体験型事業の事業数及び実施回数	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標 3以上評価 70%	5年目目標《参考》 3以上評価 90%	B	B	B
2年目目標 全ての有料公演事業にて行う	5年目目標《参考》 全ての有料公演事業にて行う	<p>今後も全ての事業においてアンケートを実施し、来場者のご意見を把握して事業の企画立案にを行い満足度向上を図る。</p>	<p>今後も横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局と調整して実施して行く。</p>	<p>満足度をはかっていますが、アンケートの大事な点として、満足していない点を読み取ることで、今後の活動に生かしてください。</p>
2年目目標 全ての有料公演事業にて行う	5年目目標《参考》 全ての有料公演事業にて行う			
定量指標③ 学校でのアウトリーチ数	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標 4校以上	5年目目標《参考》 5校以上	B	B	B
2年目目標 3以上評価 70%	5年目目標《参考》 3以上評価 90%	B	適正に行われています。	目標数は達成しています。
定量指標④ 来場者(参加者)満足度(アンケート集計)	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標 3以上評価 70%	5年目目標《参考》 3以上評価 90%	B	B	B
2年目目標 全ての有料公演事業にて行う	5年目目標《参考》 全ての有料公演事業にて行う	<p>今後も全ての事業においてアンケートを実施し、来場者のご意見を把握して事業の企画立案にを行い満足度向上を図る。</p>	<p>有料公演のみならず、全ての事業においてアンケートを実施し、利用者の意見をしっかりと聞き、取り入れ反映させる姿勢により、利用者から高い満足度を得られています。</p>	<p>満足度をはかっていますが、アンケートの大事な点として、満足していない点を読み取ることで、今後の活動に生かしてください。</p>

使命4 幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける

指定管理者が提案する指標

目標	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
<p>オープンデー (IZUMI TWINS OPEN DAY) 年1回来場者800人以上</p>	<p>R4:年1回 来場者513人 ※各館で配布したリストバンドの枚数が513枚であったため、両館を回遊した延べ人数とすると800人近い来場者数となったと考えている。 R5:年1回 来場者700人</p>	<p>C</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
<p>まるたまクラフトワークショップ 年2回以上 参加者20人以上</p>	<p>R4:年4回 参加者47人 (オープンデーの人数はカウントせず) R5:年5回 参加者114人</p>	<p>オープンデーについては、当館と同一の指定管理者で運営している泉公会堂と泉区の文化の二大発信拠点「IZUMI TWINS OPEN DAY」として開催している。R5においては開館30周年記念として2日間での開催とした。目標者数はわずかに達成していないものの、目標に近い人数になっている。また、コンサートや美術的な催しばかりではなく、プラネタリウムや泉区自立支援協議会の出店による飲食もあり、多角的な楽しみ方のできる、地域に開かれた文化施設を体感頂けたと自負している。まるたまクラフトワークショップについては、参加率の高いコンテンツであり実施回数を増やして開催している。</p>	<p>オープンデーは、泉公会堂と合同で協力して開催することにより文化の発信拠点として泉区の良さを再発見できるイベントとなっていました。</p>	<p>事業によって、目標値を達成しているものと、実績が伴わなかったものがあるため、原因を把握し今後の事業活動に生かしてください。ピアノ事業も好評であろうと拝察しますが、もう少し拡大していくことが望まれます。</p>
<p>地産地消事業 年1回参加者20人以上</p>	<p>R4:年1回 オープンデーにおいて 泉区産の野菜を販売するマルシェを実施。 R5:年1回 地産地消講演会を実施。 ※参加者数:40名</p>	<p>地産地消事業については、R4においてはオープンデーで泉区産の野菜を販売するマルシェを開催することにより、泉区が横浜市内で農地面積1位であることを体感していただいた。R5においては泉区区政推進課様にもご登壇頂いた地産地消に関するパネルディスカッションや防災食等の講演会を開催し好評を博した。写真講座については、R5において気軽に、また、楽しく参加できるよう、区内の飲食店にご協力頂き、「スマホに撮るカフェorスイーツ」と題してテーブルフォト講座を行った参加人数を増やした。早期に目標を達成できるよう今後も企画内容を検討して行く。</p>	<p>オープンデーを含め、地産地消野菜や泉区でかつて盛んだった養蚕事業を取り入れるなど泉区の特徴を前面に押し出すことができていました。</p>	<p>地産地消事業、指定管理者企業の得意分野を活かした事業展開(鉄道関係)などに、強みを発揮しています。</p>
<p>写真講座 年1回参加者20人以上</p>	<p>R4:年1回 参加者数4人 すずちゃん先生の初心者のための写真講座 R5:年1回 参加者数13人 テーブルフォト講座</p>	<p>写真講座については、R5において気軽に、また、楽しく参加できるよう、区内の飲食店にご協力頂き、「スマホに撮るカフェorスイーツ」と題してテーブルフォト講座を行った参加人数を増やした。早期に目標を達成できるよう今後も企画内容を検討して行く。</p>	<p>回数を重ねるごとにファンを増やしている事業も多く、応募開始とともに定員に達しているものなど人気の高さが窺えるものとなっています。</p>	<p>オープンデーを泉公会堂と合同で開催したことは、文化施設を地域に開かれたものにする上で、高く評価できます。</p>
<p>おはなしサンタのおはなし会 年2回以上参加者50人以上</p>	<p>R4:年2回 参加者数52人 R5:年2回 参加者数57人</p>	<p>「テアトルフォンテでピアノを弾きませんか」については、R5よりピアノYAMAHAの最高機種となり人気を博している。また、相鉄線が都心へ直通した効果もあり、都内より来館される参加者もあり、今後も継続して開催して行く。</p>	<p>テアトルフォンテでピアノを弾きませんかイベントでは、区民文化センターを身近なものとして捉えることができるものであり、多くの利用者に喜ばれています。</p>	<p>「おはなしサンタのおはなし会」は、幼児～小学校低学年の親子向けの無料の催しで、人気の程がうかがえます。</p>
<p>テアトルフォンテでピアノを弾きませんか 月1回以上 利用可能日数:1日11コマ</p>	<p>R4:10月以外は実施 1日9コマ(利用時間1時間) ※10月は共催事業が多かったため。 R5:4月以外は実施。 1日5コマ(R5より1コマ2時間に変更) ※4月はピアノ更新作業を行ったため。</p>	<p>いずみ野線と泉区講座については、R4においては東急線との相互直通運転目であったため泉区といずみ野線の関わりについて、R5においてはゆめが丘の大規模集客施設「ゆめが丘ソラトス」の開業を控えていたためゆめが丘の開発の歴史およびゆめが丘ソラトスの概要について講演および区長や地域代表者を交えたパネルディスカッションを開催し、地域をより良く知るための一助となった。</p>	<p>また、貴社の特性を打ち出した鉄道事業など多種多様で魅力的な事業が展開されています。</p>	<p>地域のことを学び地域交流を促進する機会「いずみ野線と泉区講座」は、ユニークな企画で参加者も多く、地域住民の関心の高さがうかがわれます。</p>
<p>地域のことを学び地域交流を促進する機会 いずみ野線と泉区講座 養蚕関連事業</p>	<p>いずみ野線と泉区講座 R4:参加者数140人 R5:参加者数100人 養蚕関連事業 R4:シルクスカーフの染色体験、巻き方教室、シルクスカーフドレスの展示を実施。</p>	<p>いずみ野線と泉区講座については、R4においては東急線との相互直通運転目であったため泉区といずみ野線の関わりについて、R5においてはゆめが丘の大規模集客施設「ゆめが丘ソラトス」の開業を控えていたためゆめが丘の開発の歴史およびゆめが丘ソラトスの概要について講演および区長や地域代表者を交えたパネルディスカッションを開催し、地域をより良く知るための一助となった。</p>	<p>また、貴社の特性を打ち出した鉄道事業など多種多様で魅力的な事業が展開されています。</p>	<p>地域のことを学び地域交流を促進する機会「いずみ野線と泉区講座」は、ユニークな企画で参加者も多く、地域住民の関心の高さがうかがわれます。</p>

業務の基準で設定している指標

定量指標① 社会包摂の実現を目指す事業数		実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》		B	B	B
8事業以上	10事業以上	R4: 8事業 R5: 9事業	R4: オープンデーメッセンジャーライブ、学校アウトリーチ、泉公会堂出張公演、インターシップ、ぬり絵セラピー、横浜芸術アクション事業連動事業、おはなしサンタのおはなし会(音祭り。9月ワンコインコンサート)、 R5: オープンデーメッセンジャーライブ、学校アウトリーチ、区内中学校美術展、区内高校美術展、ぬり絵セラピー、自立支援協議会物品販売、自立支援協議会作品展示、おはなしサンタのおはなし会、パントマイムを実施し、目標を達成した。	様々なジャンルの事業を行うことが出来ており、地域の方々に大変喜ばれています。	多様な事業実施により、区民ニーズを喚起するような取り組みが展開できています。どの事業も親しみやすい内容で、自然に社会包摂の取組に繋がっているように思います。
定量指標② 地域の施設・団体と連携して実施した事業数		実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》		B	A	B
7事業以上	10事業以上	R4: 6事業 R5: 9事業	R4: オープンデー(いずみ紙芝居一座)、泉区美術会との共催、泉区民文化祭の共催、いずみ野線と泉区講座、いずみ中央駅前広場イベントとの連携事業、公募写真展 ※共催予定であった太鼓お囃子フェスティバル等はコロナにより中止 R5: オープンデー(岡津太鼓、泉区舞踊協会、読み聞かせ、自立支援協議会物品販売)、泉区美術会との共催、泉区民文化祭の共催、いずみ野線と泉区講座、映画上飯田の話上映会、公募写真展、太鼓お囃子フェスティバルとの共催、やよい祭、こどもログハウスリニューアルオープン記念メッセンジャーライブ を実施し、目標を達成した。	事業数が目標到達していることはもちろん、日頃から積極的に地域の施設・団体と関わり、連携する姿勢が見受けられます。	地域の組織との連携の結果、多様な事業展開が可能になっている点は大いに評価できると考えます。泉区出身の映画監督たかはしそなた監督の映画「上飯田の話」上映会は興味深い試みと思いました。
定性指標① 地域コーディネーター担当による地域との連携状況のレポート		実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》		B	B	B
レポートを公開	レポートをもとに地域活動者とのシンポジウムを開催	R4: 未実施 R5: いずみ野線と泉区講座のレポートを記載	今後も継続してレポートを公開して行く。	適正に実施されています。	適切な実施が継続されていくように努めていただければと思います。
定性指標② バリアフリーの視点からの来館者の声(アンケート・インタビュー調査)		実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標	5年目目標《参考》		B	B	B
事業モニターや第三者による分析等で現状を定期的に把握する	継続して行う	利用者アンケートにて包括的にヒアリングを実施。	今後も継続してアンケートを実施して行く。	適正に実施されています。	インタビュー調査もおこなわれるとよいかもしれませんが。

使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

指定管理者が提案する指標

目標	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
市内中小企業優先発注:5社 市内中小企業の優先発注の他、市内に縁のある企業に積極的に依頼し、活性化につなげる。	R4:13社 R5:12社	A 今後も積極的に市内中小企業に優先発注していく。	A 積極的に市内中小企業を優先し、契約を行っており、目標を大幅に超えた実績となりました。	A 市内中小企業が優先され、件数も多く発注されています。
ハマロードサポーターの参加:月1回30分程度	R4:月1回、R5:月1回	A	B	B
避難訓練コンサート:年1回 100名動員	R4:年1回130人 R5:年1回150人	避難訓練コンサートについては、横浜市消防音楽隊によるコンサートのみならず、当館と同一の指定管理者で運営している泉公会堂と合同で「IZUMITWINS防災フェア」として開催し、泉公会堂では泉消防署によるAED体験および起震車体験ならびに子供の消防服を着ての写真撮影、泉警察署による災害警備活動パネル展示および防犯防災チラシの配布など、区民の防災意識の啓蒙活動を行うことができた。また、当館が入居しているビルの施設管理者が当社であるため、防災センターとも連携した訓練を行っている。防犯については、スタッフによる巡回の他、当社社員が詰めている防災センターと日常的に連携を図っている。社内同士であるため、連携が図りやすい。	日頃から、天変地異に備え、館内巡回をこまめに行い、事件・事故を未然に防ぐ取組がなされています。 感染症対策については、安心して館内を使用していただけるよう利用者のニーズに合わせ消毒セットの貸出が行われており、利用者の方が安心して施設を使うことができます。 また、避難訓練コンサートは実施することにより課題が明らかになり、実際の災害に備えた大変評価できる取組です。	基本事項の徹底により、継続して安心安全な施設運営に努めてください。 毎年1回、100名を超える有観客での避難訓練コンサートを開催することは、防災対策上有効なことで高く評価します。また、全ての職員が普通救命講習を受講し公的資格を持つことも高く評価します。
館内巡回:1日3回 朝・昼・晩の3回	開館時・閉館時の館内点検および諸室利用後の点検時に館内巡回を実施。不審者と思われる方やお困りごとがありそうな方には積極的にお声掛けをした。			
防犯カメラ:随時 監視における早期発見	継続して実施			
感染症対策:随時 監視における早期発見	横浜市および各業界のガイドラインに従い対策を行った。検温機能付き消毒装置、アルコール除菌セット、アクリルボード等の設置や貸出しの実施。備品の消毒、換気、連絡先受領等。			
普通救命救急:随時 全ての職員が資格を取得	新規配属者は普通救命講習を受講する。また、泉消防署が実施する救急教室も受講しAEDの取扱い機会を増やし対応力の向上を図っていく。			

業務の基準で設定している指標

定量指標① 施設の管理瑕疵に起因する事故件数	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
2年目目標 0件	5年目目標《参考》 0件	B	A	A
0件	0件			
定量指標② 法定点検等の実施	実績			
2年目目標 100%	5年目目標《参考》 100%			
100%	100%			
定量指標③ 修繕予算の執行率	実績			
2年目目標 90%	5年目目標《参考》 90%	施設の維持管理については、館長自らが国家資格である建築物環境衛生管理技術者の資格を保有しており、知識と経験を活かし運営している。修繕に関しては、小修繕であれば館長自らが業者に発注する費用を縮減している。利用者からのヒアリングについては、諸室へのアテンドおよび点検時に積極的にコミュニケーションを図り、利用者からの要望を把握している。	日常的に点検を実施し、予防的な修繕を行うことで事件・事故等を未然に防いでいます。 法定点検は100%実施しており問題ありません。 小破修繕については、可能な範囲にて館長自ら修繕を行うなど施設の維持管理に務めており、適正な執行がなされています。 利用者のご意見は計画どおり収集し、内容の確認・スタッフへの情報共有もきちんと行われています。 また、他の施設では光熱費の高騰にて経費削減に苦慮されている中、予算内に経費をおさめるなど適正な予算執行がなされています。	事故ゼロ、法定点検の実施、修繕予算の執行率も想定程度、利用者とのコミュニケーションへの配慮、オフィスコストの適正性の確保などがおこなわれていると考えます。 開館30年を超えて老朽化の進む施設を事故なく管理運営するのは日頃の適切な点検と予防的修繕が重要です。長期にわたる修繕計画等は市と共有して作成していると思いますが区民の大切な財産である本施設を末永く維持するために引き続き適切な管理運営をお願いします。 施設の使いやすさや快適さについてのヒアリングは、引き続き利用者の立場にたち、耳を傾けていただきたいと思います。
90%	90%			
定性指標①施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	実績			
2年目目標	5年目目標《参考》			
日々のコミュニケーション、アンケート月間、ご意見箱、利用者会議、ホームページのお問い合わせフォーム、自主事業時のアンケート等により収集する。	継続して行う			
定性指標② 管理運営費推移の要因分析	実績			
2年目目標	5年目目標《参考》			
利用料金収入や貸室稼働率に対して、水光熱費やオフィスコストが適正に推移をしているか、前年度同期比に対して乖離がないか、四半期毎に分析を行い、サービスを維持したうえで時期に反映する。	継続して行う	【取組内容】 四半期ごとに分析した。		

横浜市の重要政策課題への取組

指定管理者が提案する指標

取組内容	実績	自己評価	行政評価	委員会評価
人権尊重 障がい者などが利用しやすい環境づくりを行い、文化芸術活動へのアクセスが困難な方々に対する鑑賞や体験などの事業を活発に展開していきます。	適正に実施している。	B サービス介助士の取得や人権や心のバリアフリー研修等を行い、障害のある方でも利用しやすい施設作りを心掛けた。	B 適正に実施しています。	B お客様目線での対応がなされていると考えます。人権尊重について、引き続き適正・適切な対応をお願いします。
個人情報保護に対する取組 個人情報を含む書類は、施錠できる書庫に保管します。併せて、研修を実施し、個人情報保護の重要性を共有します。	適正に実施している。	B 個人情報保護研修については、年2回、個人情報保護に関する特記事項に関する研修、社内PMSに係る個人情報保護研修を行っている。理解度テストも行い各人の理解度を図っている。	B 個人情報の管理については、職員に対する研修を実施し、施錠管理をするなど、適切な取組がなされています。	B 個人情報保護について、引き続き適切な管理運営をお願いします。
情報公開に関する取組 情報公開の趣旨に鑑み規定等を策定し、適切に運用します。	今期は該当ナシ	B 情報公開規程に関する研修を行っている。	B 今期は該当ナシ	B 情報公開に関する取り組みについて、引き続き適切な取組をお願いします。
環境への配慮に関する取組 省エネなど環境に配慮した施設運営に努めます。	適正に実施している。	B 空調機に関しては適切な温度管理を行い、中間期には積極的に外気冷房を行い省エネに配慮した施設運営を行っている。	B PEFC認証の物品を調達することや環境に優しいもの(べんがら)を利用したワークショップを開催しています。	B 環境への配慮に関する取組について、引き続き適切な取り組みをお願いします。